環境を守るをために

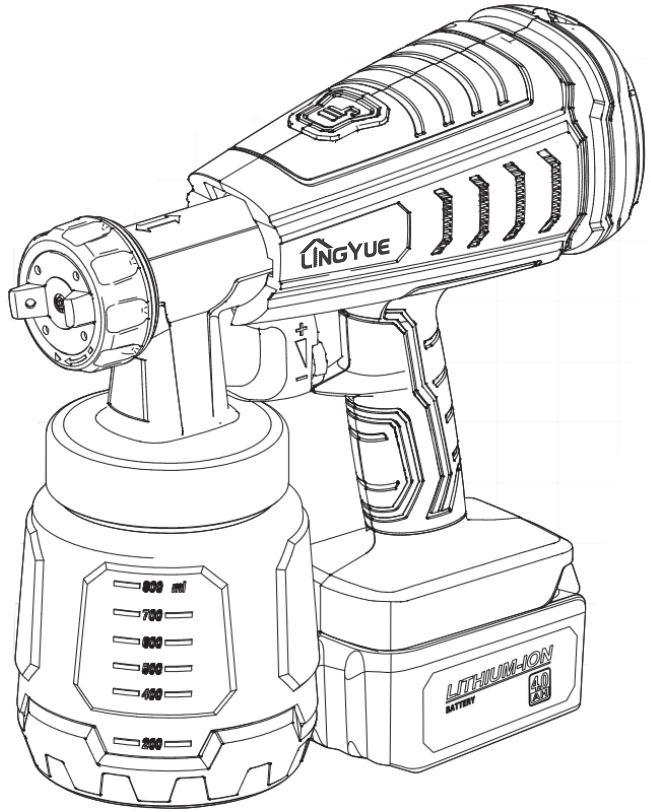
環境に優しい方法で製品本体及び付属品を回収ください。
廃棄する際に一般の家庭ゴミと区別する必要があります。
正しい廃棄、処理、再利用、リサイクルのため、指定された回収場所までお持ちください。

充電式スプレーガン説明書

型番	TM-PQ18V	
お 客 様	お名前 ご住所　　〒 お電話番号	
お買い上げ日		
保証期間:（お買い上げ日から） 本体一年間		
ご注文番号		

充電式スプレーガン

取扱説明書



このたびは充電式スプレーガンをお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。 ご使用に先立ち、この取扱説明書をよく お読みいただき本機の性能を十分ご理解 の上で、適切な取り扱いと保守をしていただいて、いつまでも安全に能率よくお使いくださる ようお願いいたします。なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してくだ さい。

型番：TM-PQ18V

安全に関する指示　警語表示について

本書では、下記の警語表示を用いて説明しています。



警告内容を怠った場合、人が死亡、重傷を負い、または機械にダメージになる可能性が想定されることを示します。



保護手袋を着用してください。



防じんマスクを着用してください。木材、金属などの材料を取り扱うと、健康に有害なほこりが発生する可能性があります。 アスベストを含む材料で作業しないでください!



保護メガネを着用してください。

電動工具の安全警告

注意

すべての説明書をよく読んでください。
次に示すすべての指示に従わない場合は、感電、火災または重傷を招く恐れがあります。

今後の参考のため、すべての注意事項および指示を保管しておいてください。

T次に示すすべての警告における「電動工具」という用語は、電源式（コード）電動工具または電池式（コードレス）電動工具を示します。

1）電動工具の安全に関する一般的な警告——作業場所での安全確保

a）作業場所はきれいに整理整頓して、十分な照明を確保してください。
散らかった暗い場所は事故を招く恐れがあります。
b）爆発を誘引することがある可燃性液体、ガスまたは粉じんがあるところでは、電動工具を使用しないでください。
電動工具は、粉じんまたはヒュームを発火させることがある火花を発生する場合があります。
c）電動工具の使用中は、子供及び第三者を近付けないでください。
注意が散漫になって、操作に集中できなくなる場合があります。

2）電動工具の安全に関する一般的な警告——電気的安全性

a）電動工具の電源プラグは、コンセントに合ったものを使用してください。電源プラグを改造しないでください。アダプタプラグを接地した電動工具と一緒に使用しないでください。改造していない電源プラグ及びそれに対応するコンセントを使用すれば、感電のリスクは低減されます。
b）パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの接地されたものと、身体の接触を避けてください。身体の接触を避けてください。身体が接地された場合は、感電のリスクが増大します。
c）電動工具は、雨または湿気がある状態にさらさないでください。
電動工具に水が入ると、感電のリスクが増大します。
d）コードを乱暴に扱わないでください。電動工具を移動させたり、引っ張ったり、または電源プラグを抜くためにコードを利用しないでください。
コードは、熱、油、角の尖ったところ、または働くものからはなしておいてください。コードが損傷したり、絡まったりすると、感電のリスクが増大します。
e）電動工具を屋外で使用するときは、屋外の使用に適用した延長コードを使用してください。
屋外の使用に適したコードを使用すれば、感電のリスクは低減されます。
f）やむを得ず湿気の多い場所で電動工具を使用する場合、残留電流装置（RCD）で保護された供給品を使用してください。RCDの使用は感電の危険を減らします。

3）電動工具の安全に関する一般的な警告——人の安全性

a）電動工具の使用中は作業に集中し、注意を怠らず、常識に従って行動してください。
疲れている時、アルコールまたは医薬品を飲んでいる時は、電動工具を使用しないでください。
電動工具を使用中の一瞬の不注意は、深刻な人的損害をもたらすことがあります。
b）安全保護具を必ず使用してください。常に保護メガネを装着してください。
適切な状態で防じんマスク·滑り防止安全靴、ヘルメットまたは耳栓など安全保護具を使用することで、傷害事故が低減されます。
c）偶発的な始動を避けてください。プラグに差し込むに必ずスイッチを「off」にしてください。
スイッチに指を掛けて電動工具を運んだり、スイッチが「on」の状態で電動工具のプラグを差し込むと、事故につながる恐れがあります。
d）電動工具の電源を入れる前に、調整キーまたはレンチを外してください。電動工具の回転部分にレンチまたはキーを付けたままにしておくと、人的傷害をもたらす恐れがあります。
e）無理な姿勢で作業しないでください。常に適切な足場とバランスを維持してください。
これによって、予期しない状況でも電動工具をより適切に操作することができます。
f）作業に適した服装で作業してください。だぶだぶの衣服や装飾品はにつけないでください。
髪、服および手袋を回転部に近付けないでください。だぶだぶの服、装飾品または長髪は、回転部に巻き込まれる場合があります。
g）集じん装置が接続できるものは、適切に使用されていることを確認してください。
これらの装置を使用することによって、粉じん関連の危険を低減することができます。

4)電動工具の安全に関する一般的な警告——電動工具の使用及び手入れ

a）電動工具を無理に使用しないでください。用途に合った正しい電動工具を使用してください。
より適切、安全に作業ができます。
b）スイッチで始動および停止操作のできない場合、その電動工具は使用しないでください。
スイッチで制御できない電動工具は危険ですので、修理を依頼してください。
c）調整を行う前、付属品を交換する前、または電動工具を保管する前には、電源プラグをコンセントから抜くか、または電動工具から蓄電池を外してください。
このような予防的安全手段によって、電動工具を誤って始動させるリスクが軽減されます。
d）使用しない電動工具は、子供の手の届かないところに保管し、電動工具に不慣れな者や取扱説明書を読んでいない者には電動工具を使用させないでください。
電動工具を扱い慣れていない者に渡すと危険です。
e）電動工具の保守を行ってください。電動工具の動作に影響する恐れがある可動部分の心ズレまたは締付け状態、部品の破損及びその他の状態を点検してください。
電動工具工具の保守が不十分であることが、多くの事故の原因となります。
f）先端工具を適切に手入れして鋭利にしておけば、作業の円滑さを失うことなく、操作も容易になります。
g）電動工具、付属品、アタッチメント、先端工具などは、作業条件及び実施する作業を考慮して、それらの取扱説明書に従って使用する電動工具に合うように使用してください。
意図された作業と異なる作業に電動工具を使用すると、人的傷害をもたらす恐れがあります。

5)電動工具の安全に関する一般的な警告——サービス

a）電動工具の整備は有資格者の方のみ行ってください。知識や技術のない方による修理や整備は負傷の危険があります。電動工具を整備する場合、純正交換部品のみを使用してください。
これによって、電動工具の安全性を維持するこができます。
b）**注意!**
電動工具の整備は、本書に推奨された交換部品を利用しないことが、多くの事故の原因となります。純正交換部品のみを使用してください

安全にご使用いただくための警告事項

- 引火点55°C以上の塗料を利用ください。
- 爆発性雰囲気となる可能性のある危険場所にスプレー作業しないでください。
- 火気 · 可燃性のガス · 液体のある場所で使用しないでください。
- 不明物質にスプレーしないでください。
- 塗装作業する前に、電源プラグをソケットから取り外してください。
- 可燃物を塗料として利用しないでください。
- 本機を洗浄の際、引火点55°C以下の洗浄溶剤を使用しないでください。
- 塗料の仕様書を十分理解の上、使用してください。
- ノズルに大きな力を加えないでください。

注意 ご注意：作業中、必ず保護マスクを着用してください。
バッテリー充電器に関する安全上のご注意

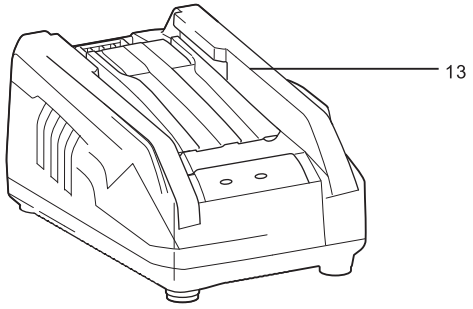
- バッテリー充電器は雨や湿気などにさらさないでください。
  水の浸入の原因で感電のリスクが増大します。
- 製品に搭載されたボッシュのリチウムイオン電池またはリチウムイオン電池のみを充電してください。充電器の修理は、有資格者まが行ってください。バッテリー充電器、ケーブル、プラグが損傷すると、感電の危険性が高まります。可燃性の高い場所で充電器を操作しないでください。
- 充電器の電圧とバッテリー電圧は一致にしてください。
  一致しないと、火災や爆発の危険性があります。
- バッテリー充電器はいつもきれいな状態でご使用ください。
  ゴミやホコリが付着すると、感電の危険があります。
- 使用する前に、バッテリー充電器、ケーブルまたはプラグの完全性を確認してください。 バッテリー充電器に損傷がある場合は、使用しないでください。 バッテリー充電器を自分で分解 · 修理しないでください。純正部品のみを使用してください。
  充電器、ケーブルまたはプラグの損傷は感電の原因となります。
- 充電は紙や布など、燃えやすいものの上で行わな いでください。また、まわりに燃えやすいものがない安全な場所で行ってください。
  充電中にACアダプターが高温になってこれらのものに引火し、 火災につながる危険があります。
- 子供が充電器で遊ばないように注意してください。
- この充電器は【対象年齢 8才以上用】です。また　身体障害、知的障害又は精神障害の低下する方、使用経験不足の方に対しては、監督指導が必要となります。
  そうでないと、誤操作による危険があります。

規格

規格		TM-PQ18V	
定格電圧	18V DC	バッテリー容量	4.0Ah
塗料タンク容量	800mL	最大粘度	120DIN
ノズル寸法	Φ1.8mm/Φ2.6mm	充電時間	75min

作業する前に、保護具を着用してください。

各部の名称及び付属品



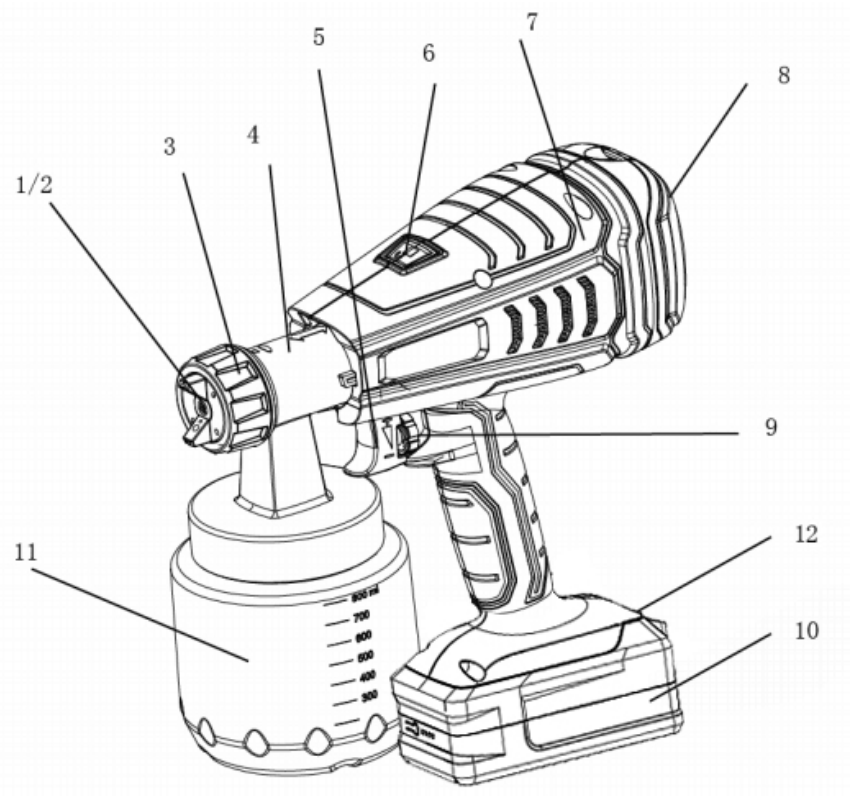


図. 1

図. 1		
1）空気キャップ	2）塗料ノズル	3）先端リング
4）ガンボディ前部	5）スイッチトリガー	6）ロックボタン
7）ガンボディ後部	8）エアフィルターカバー	9）流量調節ダイヤル
10）バッテリーパック	11）塗料タンク	12）デタッチボタン
13）充電器		

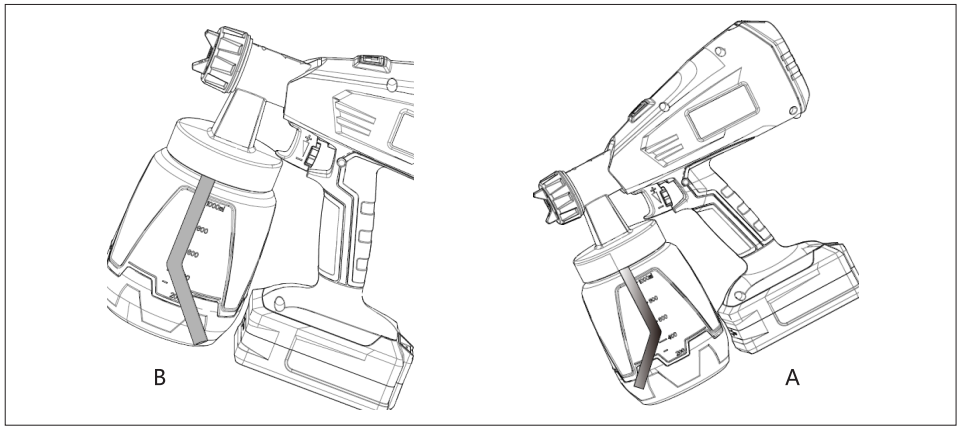


図. 2

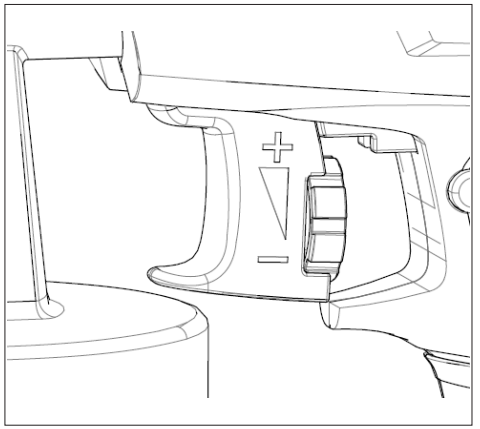


図. 5

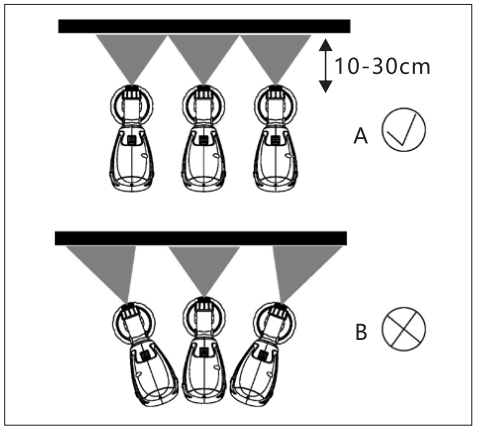


図. 6

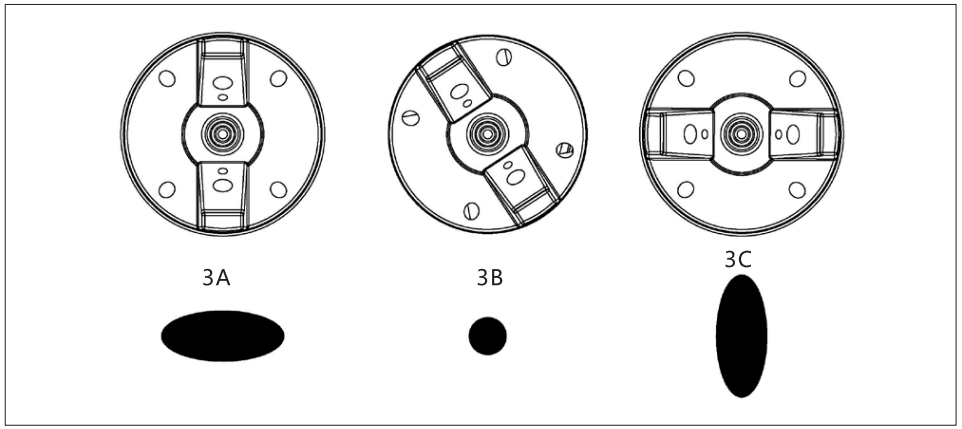


図. 3

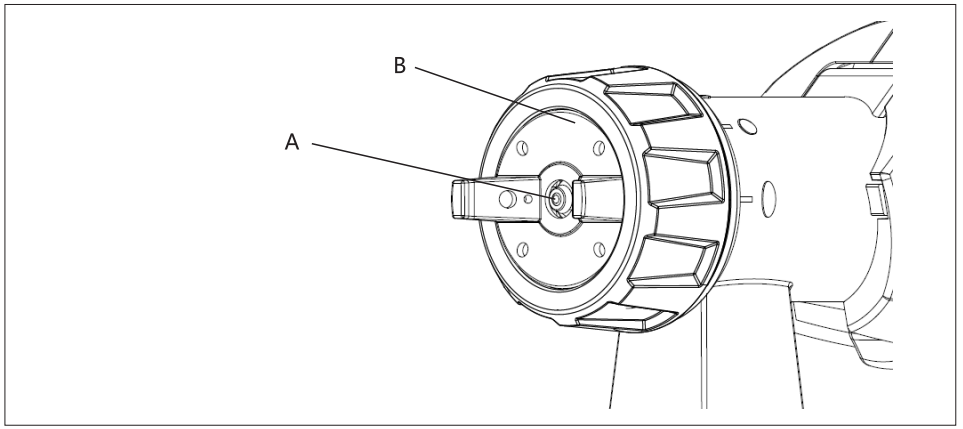


図. 7

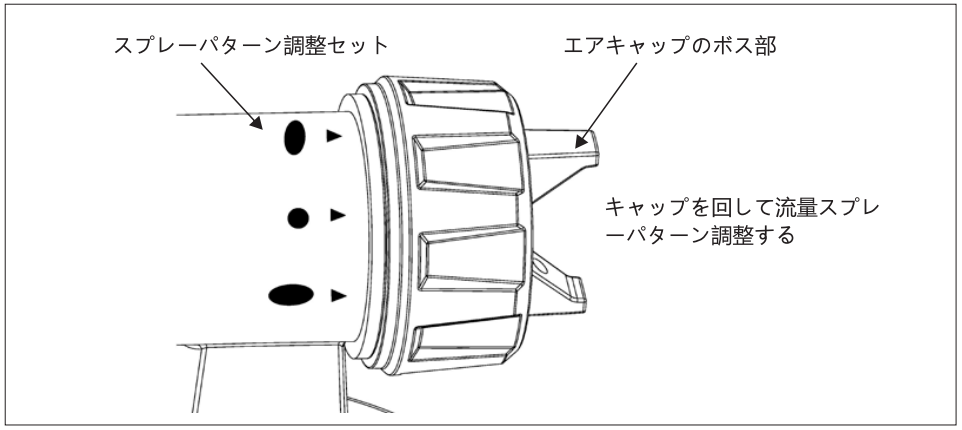


図. 4

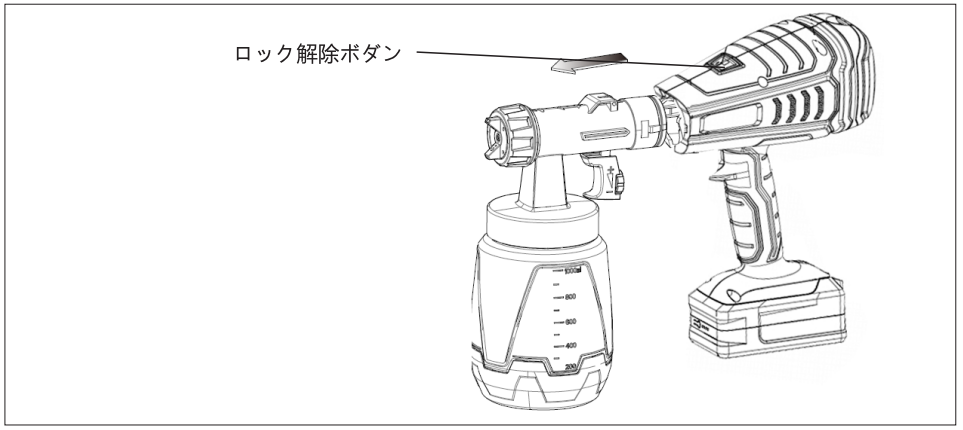


図. 8

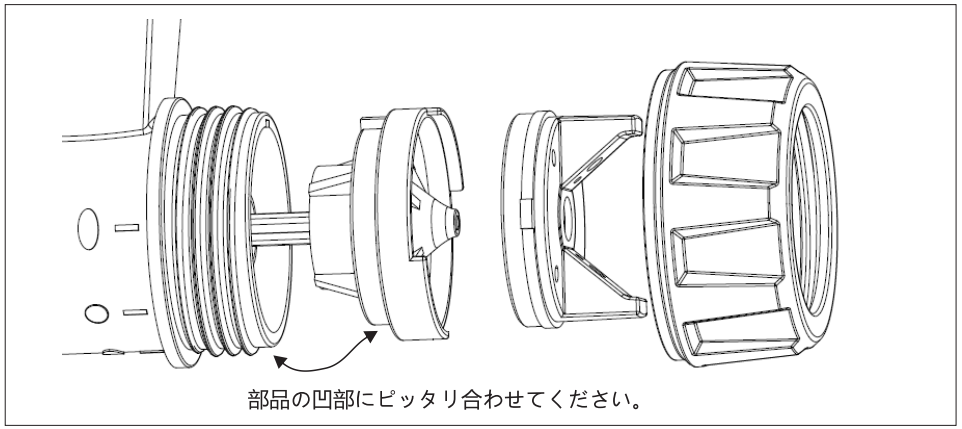


図. 9

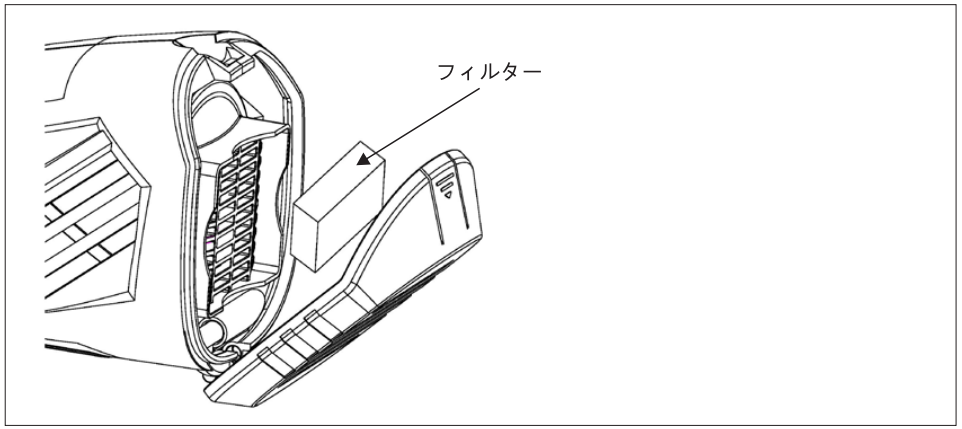


図. 10

本機で使用可能な塗料
　　水性塗料

本機で使用できない塗料
- メタリック
- 骨材入り塗料
- 弾性系塗料
- 超高粘度塗料
- パールなどの粉末入り塗料
- 漂白剤や塩素系含む塗料
- ウレタン塗料

作業開始

- ガンボディからガン前部を取り外す。 (図.8)
- 塗料タンクを外して、チューブの位置を適切に調整する。 (図.2)

それによって、最大限に塗料を使えられます。
横たわっていた被塗物に対するチューブの方向 (図. 2 A)
上方にある被塗物に対するチューブの方向 (図. 2 B)

- 塗料をタンクにいれてから、タンクをガンに取り付けます。
- ほかの部品をスプレーガンに取り付けます。
- 平らで清潔な面にのみ置いてください。 そうしないと、本機が転倒する可能性があります。
- 塗料噴出パターンを設定します。
- 被塗物の状況によって、ご希望噴出パターンを選んでください。

スプレーパターンを選択
図. 3 A = 水平パターン
図. 3 B = 丸吹パターン
図. 3 C = 垂直パターン
パターン調整ダイヤルはエアキャップのボス部にあります。矢印が付きます。 (図.4)

注意! エアキャップを調整するとき、トリガーを押さないてくだい。事故のおそれがあります。
流量調整　(図. 5)
流量調整ダイヤルを指で回して流量を調整してください。
- 方向→流量減
+ 方向→流量増

ご使用方法

- 塗装後の効果は被塗物の表面の平滑度と清潔度次第です。
- 被塗物以外の物を遮断物で覆いてください。
- ネジ山のような突起物を遮断物で覆いてください。
- 特にパターン形状は状況により差がありますのでテストパターンを確かめて塗装することをお薦めします。

重要：ターゲットエリアの外側からスプレーを開始し、ターゲットエリア内での中断を避けてください。
正確(図. 6a)

- 吹き付け面から10-30cmほど離してください。一定の速さで平行に電動工具を持って作業してください。

不正確 (図. 6b)

- 本機を上下左右に吹き付けると、塗料の塗りムラの原因となりますので、ご注意ください。
- スプレーパターンの設定に応じて、スプレーガンを平行に作業を行います。
- 水平にスプレー作業行うと、塗装後の塗膜が均一になります。
- ノズル(A)またはエアキャップ (B) (図. 7)に塗料の塊ができる場合、溶剤や水でノズルとエアキャップを洗浄してください。

作業後の掃除

スプレーガンは最良な状態で使用できるように清掃を実施ください。不適切なクリーニングを行う場合、保証請求は受け付けられません。

1）長時間放置され、または使用後の電動工具の塗料タンクを排気してくだい。タンクオープンしてからすぐに閉めて、あるいはトリガーを押すことで排気できます。排気後、タンクにある塗料を別の容器移します。
2）ロック解除ボタンを押し、ガンボディ前部を取外します。
3）タンクを取外し、余った塗料を別容器に移してください。
4）チューブを取り外します。
5）洗剤や水をタンクにいれて、タンクを元に取り付けます。引火点55°C以上の溶剤のみ使用してください。
6）再度ガンを組み立てます。
7）電動工具をオンして、雑巾に空吹きしてください。
8）きれいなペインうすめ液が出るまで空吹きしてください。
9）電動工具をオフする。

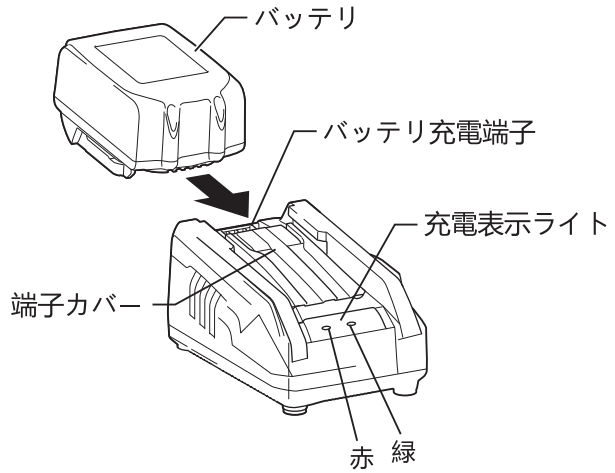
注意
スプレーガンのシールやノズルまたはエアホールを金属物で清掃しないでください。
湿らせた布でのみ本気外部を清掃してください。　内蔵部分は耐溶剤性があっても、溶剤に浸入しないでください。拭いてよろしいです。
警告!　スプレーガン後部を液体に浸したり、液体をかけたりしないでください。
湿らせた布で表面のみ拭いてください
10）スプレーガンと塗料タンクの表面を、溶剤または水で湿らせた布で拭きます。
11）ユニオンナットを緩め、エアキャップとノズルを取り外します。 エアキャップとノズルをブラシを使って溶剤または水で清掃します。

メンテナンス
エアフィルターが汚くなると交換してください。 (図. 10).
ご注意
エアフィルターなしの状態で電動工具を操作しないでください。フィルターにゴミが詰まった場合、電動工具の機能を妨げるおそれがあります。

バッテリーパックを充電する場合

1. 充電器の電源プラグを100Vの電源コンセントに差し込 みます。
• 充電表示ライトは「緑」の点滅を繰り返します。
2. バッテリを充電器の挿入ガイドにそって、一番奥まで入れます。
• 充電器の端子カバーはバッテリ挿入に伴い開閉します。
3. バッテリを挿入しますと充電表示ライトが「赤」に点灯し、現在設定さ れている充電完了メロディーの確認音が短時間鳴り、充電を開始しま す。
4. 充電が完了すると「緑」の点灯に変わり、充電完了メロディーや電子ブザー 音が鳴ります。
• 充電時間は周囲温度（10 ℃~ 40 ℃）やバッテリの状態（新品 · 長期保存バッテリや寿命に近いバッテリなど）により変動します。
• 充電完了後すぐに使用しない場合は、バッテリの冷却を行いますので、そのまま差し込んでおくことをおすすめします。冷却時間は約 30 分です。

5. バッテリを抜き取り、電源コンセントから充電器の電源プラグを抜きます。



充電異常が生じた場合、充電を中止し、充電器とバッテリーを持って、販売店またはカスタマーサポートセンターへお問い合わせください。

修理を依頼される前に

状況	原因	対策
塗料がでない	先端ノズルの詰まり チューブの詰まり 流量調整ダイヤルが「-方向」に回しすぎ チューブの緩め 塗料タンクに圧力がない 塗料の粘度が高すぎる	掃除する 掃除する 流量調整ダイヤルが「+方向」に調整する チューブをしっかり固定する 塗料タンクをしっかり固定 塗料を希釈する
塗料ノズル先端からの液漏れ	ノズルの緩め ノズルの磨耗 エアキャップ、ノズルまたはニードルの間隙にゴミや塗料が付着している	調節する 交換する 掃除する
霧の粒子が粗い	塗料の粘度が高すぎる 流量調整ダイヤルが「-方向」に回しすぎ ノズルにゴミや塗料が付着している エアフィルターの固まり 塗料タンクに空気圧の低下	塗料を希釈する 流量調整ダイヤルが「一方向」に調整する 掃除する 交換する 塗料タンクをしっかり固定する
息切れ	タンクにある塗料が不足 エアフィルターの固まり	塗料を補充する 交換する
吹き付けた部分が液ダ	塗料を塗布しすぎる	流量調整ダイヤルが「一方向」に調整する